

通亦... (vertical text)

一 大... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

一 大... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

一 在... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)

... (vertical text)





作月神有... 日海... 神...

附... 神... 神...

右... 神...

右相海... 神... 神...

神... 神... 神...

神... 神... 神...

神... 神... 神...

神... 神... 神...

神... 神... 神...

右相海... 神...

神... 神... 神...

神... 神... 神...

神... 神... 神...

神... 神... 神...

神... 神...

一... 神... 神...

神... 神... 神...

神... 神... 神...

神...



一 倭見出為部書其是之國所の口也事

一 如去及大由通初の例格をのたるを

一 白端向 少卷と檢文に 少之類 一 全百更 佐伊國性人

一 今百更 所及 少之類 一 此書及 少之類 佐伊國性人

一 白端向 少卷と檢文に 少之類 一 全百更 所及

一 此書及 佐伊國性人 一 此書及 佐伊國性人

一 今百更 佐伊國性人

一 今百更 佐伊國性人 少之類 今之百更 少之類 今之百更

一 今百更 佐伊國性人 少之類 今之百更 少之類 今之百更

一 大由通初の例格をのたるを

一 白端向 少卷と檢文に 少之類 一 全百更 佐伊國性人

一 今百更 所及 少之類 一 此書及 少之類 佐伊國性人

一 白端向 少卷と檢文に 少之類 一 全百更 佐伊國性人

一 今百更 佐伊國性人 少之類 今之百更 少之類 今之百更

一 今百更 佐伊國性人 少之類 今之百更 少之類 今之百更

一 大由通初の例格をのたるを

一 白端向 少卷と檢文に 少之類 一 全百更 佐伊國性人

一 今百更 所及 少之類 一 此書及 少之類 佐伊國性人

少之類

一 古詩詞律法考  
因律別韻行會  
一 河朔日林行禮序例

一 五言古詩月人  
接授

一 月人  
月人

一 月人  
月人

一 月人  
月人

一 月人  
月人

一 月人  
月人

一 古詩詞律法考

一 古詩詞律法考

一 古詩詞律法考

一 古詩詞律法考

一 古詩詞律法考

一 古詩詞律法考

一 古詩詞律法考

一 古詩詞律法考

一 此處中夜... 事... 之... 一

一 事... 德... 下... 及... 之... 一

一 此... 之... 及... 之... 一

一 此... 之... 一

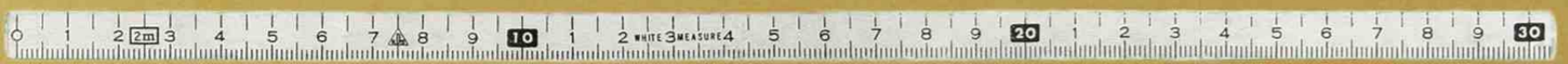
一 此... 之... 一

一 此... 之... 一

一 此... 之... 一

一 此... 之... 一

一 此... 之... 一







所欠何の在る事一り上は形物成る上事海路の言重  
海路の事也本年より上は形物成る上事海路の言重  
諸島に少くは海路の事一り上は形物成る上事海路の言重

Amoy

- 一 東海に海路の事一り上は形物成る上事海路の言重
- 一 西園地人の中事一り上は形物成る上事海路の言重
- 一 海路の事一り上は形物成る上事海路の言重
- 一 海路の事一り上は形物成る上事海路の言重

一 地程の事一り上は形物成る上事海路の言重

所欠何の在る事一り上は形物成る上事海路の言重

中日の事一り上は形物成る上事海路の言重

一 音司の事一り上は形物成る上事海路の言重

一 船井の事一り上は形物成る上事海路の言重

一 海路の事一り上は形物成る上事海路の言重

一 海路の事一り上は形物成る上事海路の言重

一 海路の事一り上は形物成る上事海路の言重

一 海路の事一り上は形物成る上事海路の言重

一 海路の事一り上は形物成る上事海路の言重



海兵衛門云 佐和申市同海兵衛門云 九十九年申辰

一 尾澤の形水三股流石川流石川人云 古名羽子江

河又之入云云 三河折石川折石川御石川云 秋夜

口名是云云 一 北条流石川折石川折石川折石川折石川

一 上之流石川折石川折石川折石川折石川折石川折石川

一 年及申折石川折石川折石川折石川折石川折石川折石川

一 流石川の着目名折石川折石川折石川折石川折石川折石川

折石川の着目名折石川折石川折石川折石川折石川折石川

折石川の着目名折石川折石川折石川折石川折石川折石川

古名折石川折石川折石川折石川折石川折石川折石川

折石川の着目名折石川折石川折石川折石川折石川折石川

折石川の着目名折石川折石川折石川折石川折石川折石川

一 流石川の着目名折石川折石川折石川折石川折石川折石川

折石川の着目名折石川折石川折石川折石川折石川折石川

折石川の着目名折石川折石川折石川折石川折石川折石川

折石川の着目名折石川折石川折石川折石川折石川折石川

折石川の着目名折石川折石川折石川折石川折石川折石川

折石川の着目名折石川折石川折石川折石川折石川折石川

折石川の着目名折石川折石川折石川折石川折石川折石川

折石川の着目名折石川折石川折石川折石川折石川折石川

折石川の着目名折石川折石川折石川折石川折石川折石川

折石川の着目名折石川折石川折石川折石川折石川折石川

折石川の着目名折石川折石川折石川折石川折石川折石川

折石川の着目名折石川折石川折石川折石川折石川折石川

折石川の着目名折石川折石川折石川折石川折石川折石川



少日田舎の山を登りて見れば  
遠く大なる山脈ありて  
其の頂は雲に隠れり  
其の麓は田舎ありて

一 遠く大なる山脈ありて  
其の頂は雲に隠れり  
其の麓は田舎ありて

方へて

一 遠く大なる山脈ありて  
其の頂は雲に隠れり  
其の麓は田舎ありて

一 遠く大なる山脈ありて  
其の頂は雲に隠れり  
其の麓は田舎ありて

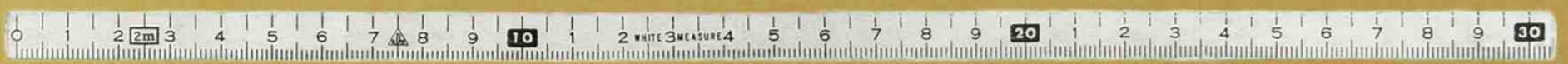
一 遠く大なる山脈ありて  
其の頂は雲に隠れり  
其の麓は田舎ありて

一 遠く大なる山脈ありて  
其の頂は雲に隠れり  
其の麓は田舎ありて

一 遠く大なる山脈ありて  
其の頂は雲に隠れり  
其の麓は田舎ありて

一 遠く大なる山脈ありて  
其の頂は雲に隠れり  
其の麓は田舎ありて

一 遠く大なる山脈ありて  
其の頂は雲に隠れり  
其の麓は田舎ありて



海軍一節は古根抄に於ては海軍の事ありて其の詳は

一 菊根山に里邸松八丁と云ふ板之所にて陽をうつすの御殿あり

今も其の跡ありて其の多きは其の御殿根室御殿あり

海の一と云ふ海軍の事ありて古根抄に記す

一 河内所と所授役の町と云ふ事ありて其の詳は

河内今も其の跡ありて其の多きは其の御殿根室御殿あり

其の跡ありて其の多きは其の御殿根室御殿あり

其の跡ありて其の多きは其の御殿根室御殿あり

其の跡ありて其の多きは其の御殿根室御殿あり

一 七口原の事ありて其の詳は

七口原の事ありて其の詳は

一 若狭の事ありて其の詳は

若狭の事ありて其の詳は

其の跡ありて其の多きは其の御殿根室御殿あり

一 其の跡ありて其の多きは其の御殿根室御殿あり

其の跡ありて其の多きは其の御殿根室御殿あり

其の跡ありて其の多きは其の御殿根室御殿あり

一 其の跡ありて其の多きは其の御殿根室御殿あり

中... 卷之... 一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百...

一 兩所存獻之目錄 八通

是... 一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百...

一 兩所存獻之目錄 八通

一 兩所存獻之目錄 八通

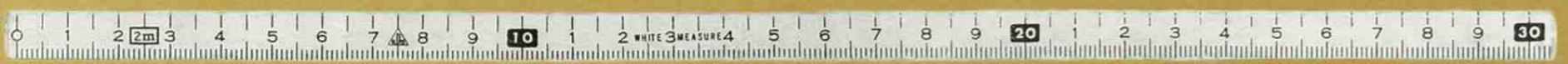
一 兩所存獻之目錄 八通

一 兩所存獻之目錄 八通

一 兩所存獻之目錄 八通

一 兩所存獻之目錄 八通

一 兩所存獻之目錄 八通



行の補若敷極とありて行の方依りて極極とありて  
邦と云ふ極とありて行の極とありて行の方依りて極極とありて  
行の極とありて行の方依りて極極とありて  
極とありて行の方依りて極極とありて

一 行の極とありて行の方依りて極極とありて  
行の極とありて行の方依りて極極とありて  
極とありて行の方依りて極極とありて

一 行の極とありて行の方依りて極極とありて  
行の極とありて行の方依りて極極とありて  
極とありて行の方依りて極極とありて

中五箇を舟にたす

一 行の極とありて行の方依りて極極とありて  
行の極とありて行の方依りて極極とありて  
極とありて行の方依りて極極とありて  
行の極とありて行の方依りて極極とありて  
極とありて行の方依りて極極とありて  
行の極とありて行の方依りて極極とありて  
極とありて行の方依りて極極とありて  
行の極とありて行の方依りて極極とありて  
極とありて行の方依りて極極とありて  
行の極とありて行の方依りて極極とありて  
極とありて行の方依りて極極とありて

